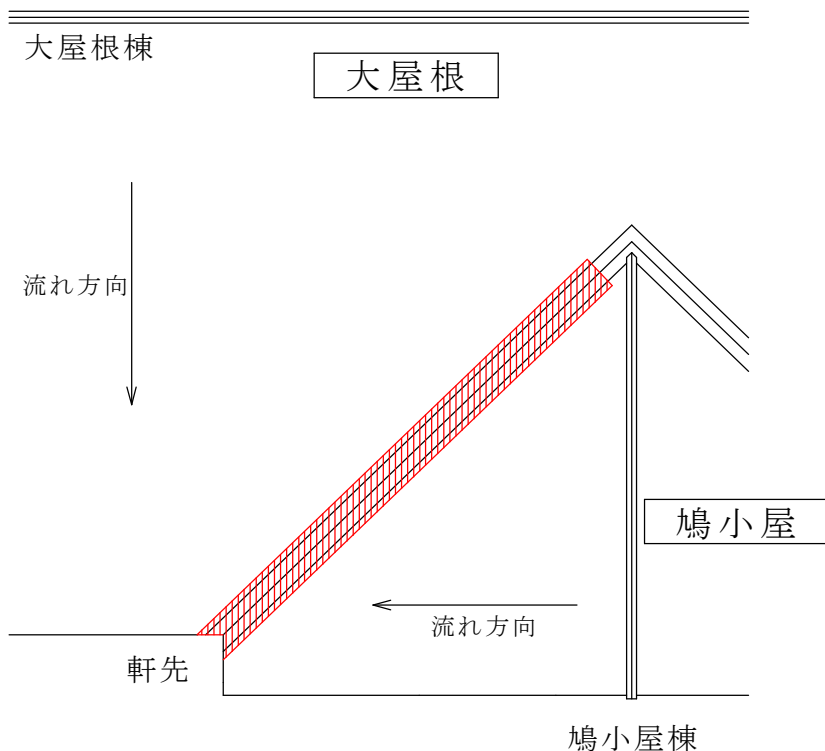
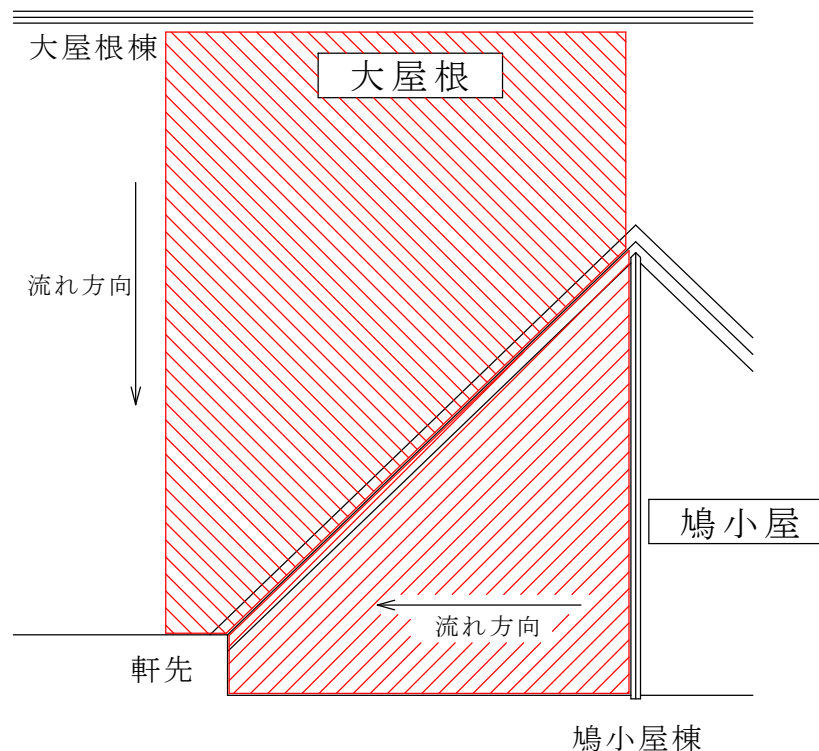


谷部分のみヒーターを入れる場合



谷に集まる屋根面にヒーターを入れる場合



谷部分のみの融雪ヒーター

融雪工事を安く抑える為に谷部分のみにヒーターを入れる例がありますが、すが漏れ防止策にはなりますが融雪効果はほとんどありません。谷は2面の屋根からの雪が集まる所です。集まってくる雪に対しての融雪面積が極端に少ない為にヒーター付近だけ解けて空洞化になります。一度空洞化になるとその部分に冷たい空気が流れ込み氷のトンネルが形成され、どんなに長く電気を入れておいても解ける事はなくなります。更に集まってきた雪は非常に雪の密度が濃くなり解かず事は更に難しくなります。

基本的にはどのメーカーの融雪装置も降ってきた雪を解かず能力しかない事をご理解ください。

上記のように谷に集まってくる面に融雪ヒーターがあると谷部分の融雪は完璧になります。この融雪面には後付けの雪止め金具を取り付けて生け花で使用する剣山のようにして降ってきた雪を屋根面で受け止めます。基本的には後付け融雪装置は雪を止めながら降ってきた雪を解かず目的でお考えください。